

令和2年度第2回自転車活用の推進に向けた有識者会議

第1回における各委員からのご意見



自転車活用推進本部事務局

第1回における各委員からのご意見



委員からの主なご意見	ご意見のカテゴリ
(1) 計画全般について	
<ul style="list-style-type: none"> ✓ この計画の中に、電動キックボードのような小型モビリティはどう位置づけるか、整理が必要。 ✓ 小型モビリティと自転車は走行空間で関わりがあるが、日本では自転車すら整理できていない。まず自転車中心で進め、その中で将来的な小型モビリティをどう適応させるかを検討すべき。 	都市環境、安全・安心
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地方版計画の策定に関わっているが、観光が中心で生活交通のためという視点が弱い。また、地方部のように車しか移動手段がない地域はプラスαの交通手段が必要。 	都市環境
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 計画期間は、現行の3年より長くとるべき 	計画期間
(2) 現行計画のフォローアップについて	
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地方版計画の質を上げたい。単に計画の数を増やすだけでなく実現可能性がある計画、実現する意思が強い自治体を支援すべき。 	都市環境
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 車道混在で矢羽根だけ引いている道路が多く、自転車の専用道路や専用通行帯の整備は進んでいないのではないか。 	都市環境
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自転車の交通ルールを守ろうとしても、どう走ったらルール通りなのか分からない、守ろうにも怖くてルール通り走れない道路が多いと感じる。 	安全・安心
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自転車と健康・医療費との関係等の研究は、健康長寿社会実現のエビデンスとして重要。 ✓ 健康効果のエビデンスを持つことも次期計画の中身に入れていただきたい。 	国民の健康増進
<ul style="list-style-type: none"> ✓ ナショナルサイクルルートはコロナの影響でインバウンドの呼び込みが難しい状況。国内からの誘客や日常利用の促進も視野に入れるべき。 	観光地域づくり
<ul style="list-style-type: none"> ✓ これまでの自転車通行空間の整備等に対する評価をして、実際に事故が減ったかなどの効果や課題を明らかにすべき。 	安全・安心
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 親が子に正しいルールを教えずに一緒に走ってしまう状況がある。また、コロナの影響で学校での交通安全教育が止まっているこの機会に、学校での交通安全教育の内容も再考すべき。 	安全・安心
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 条例で子供に限らずヘルメット着用を努力義務にしている自治体もある。「子供はヘルメットを着用」としている自転車安全利用5則を再考すべき。 	安全・安心

今後の進め方(案)

